ことばのおたより

一般財団法人 三宅医学研究所
てふてふ
令和4年 12 月

風が冷たくなり、冬の訪れを感じる季節となりました。

子どもたちは、5月から月に一度、ことばの教室で会う言語聴覚士の先生たちにもすっかり慣れて、名前を読んだり、「みてみて！」とたくさん話しかけたり、「タッチ！」と手を合わせたりしています。

この数カ月、子どもたち同士のやりとりが増えていることを実感し、12月はふれあい遊びを計画しました。歌やリズムに合わせて身体全体を使い、スキンシップを楽しみましょう。

ふれあい遊びの効果

01 なかま意識が芽生える

02 言葉についての理解が深まる

03 運動機能が発達する

04 想像力や表現力が育つ

手をぎゅっと握る、目を合わせたり、動きを合わせたりする、という経験を通じて、親しみや安心感が育まれ、心の安定につながります。また、友達と同じ気持ちを共有する喜びを体験することで、周りの人と関わりたいという意欲を育てることができます。

「にらめっこ」や「むすんでひらいて」など、昔ながらの手遊び歌も同じ効果が期待できます。年末年始のお休みに、遊んでみてくださいね。